

# 電子ウエルダー

取扱説明書 T-120



## 検査合格書


この製品は、一貫した品質管理の基に組立てられ、厳密な検査に合格した製品です。

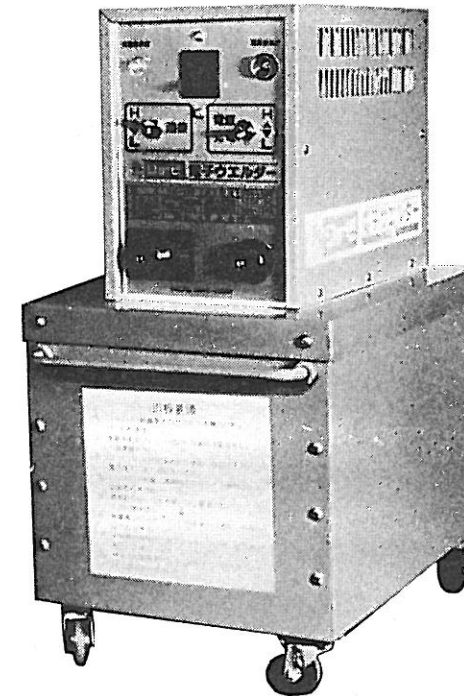
組立	検査	出庫

部品ご入用、故障の場合、その他取扱い上ご不明の点があった場合にはご遠慮なく、全国各地のリョービ電動工具販売店、リョービ東和営業所にお問い合わせ下さい。

※改良のため、お断りなく製品仕様の変わる事があります。

発売元  **リョービ東和** 株式会社  
RYOBI 〒464 名古屋市千種区春岡通り7-49  
電話(052)761-5111

製造元  **川崎電子機械産業K.K.**  
本社 北九州市八幡東区山王町4-8-9  
TEL 093-671-6917  
小倉工場 北九州市小倉北区中井2丁目18-19  
TEL 093-592-1766



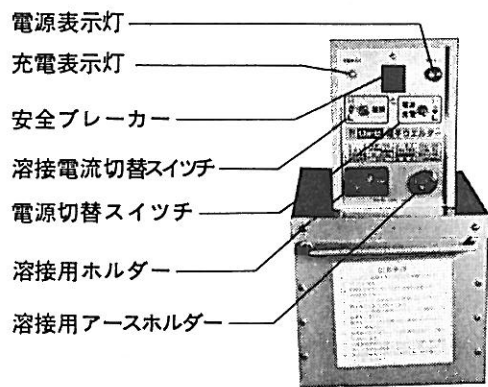
T-120

この度は、当社製品をお買上げ下さいまして誠にありがとうございます。本機はきっと貴方のお仕事のお役に立つものと確信致しております。

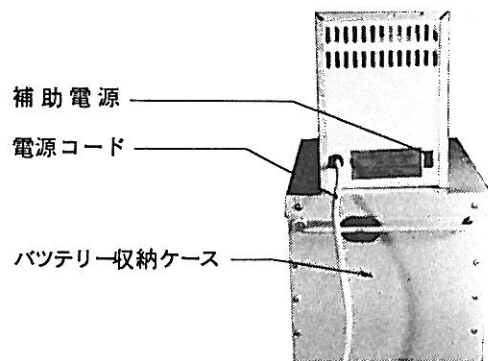
ご使用前に本取扱説明書をよくご覧の上適切な取扱いをして能率を上げ、末永くご使用下さいますようお願いいたします。

ご使用前に本取扱説明書をよくご覧の上ご使用くださるようお願いいたします。

## ■各部の名称と働き



(正面)



(裏面)

### 電源表示灯

AC100V電源が投入されると点灯します。

### 安全ブレーカー

電源側よりの入力電源が20Aをオーバーすると作動します。

### 電源切替スイッチ

Hにすると全体の出力が強くなり、Lにすると弱くなります。

### 溶接用ホルダー

ホルダー側ケーブルを接続します。

### 溶接用アースホルダー

アース側ケーブルを接続します。

### 充電表示灯

バッテリー結線が正常な時及び溶接中は消灯し、充電中は点灯します。

### 溶接電流切替スイッチ

Hが強、<Lが弱い出力となります。

### バッテリー収納ケース

12V70AH・バッテリーが2本収納できます。

### 補助電源

20Aまで出力が引き出せますので電動工具が使用できます。

### 電源コード

AC100V電源に接続して下さい。

## ■注意事項

- ① バッテリーは、12V70AHを必ず2本直列に接続して使用して下さい。小さいバッテリーを使用されたり、バッテリー1本で使用されますと、本機の故障の原因となります。
- ② バッテリーと本体との接続を間違わない様確実に接続して下さい。まちがうと、故障の原因となります。
- ③ 使用中以外は、バッテリーと本体の接続コードは切りはなして下さい。特に輸送中においてはショートの原因があります。
- ④ 溶接中において、溶接棒が材料面にくっついてしまった場合(火花が出ていない状態)は本体内がショート状態となりますので、3秒以上くっついたままにしないで下さい。
- ⑤ バッテリーの充電は2時間以上は必要ありませんので、2時間以上の充電はさけて下さい。
- ⑥ 本機にはバッテリー収納ケースが付いておりますので、使用する場合にはバッテリーをケース内に入れて使用して下さい。
- ⑦ バッテリーは絶対に⊕⊖をショートさせないで下さい。もしショートさせるとバッテリーが爆発したり、電極板が劣化します。また、バッテリー・ターミナルは強く締付けて下さい。締付が弱いとスパークが発生し、バッテリーを破損する原因となります。
- ⑧ バッテリーは数カ月に一度必ず点検して下さい。補充液は蒸留水を使用して下さい。
- ⑨ 雨や水分のかかる場所に本体を設置しないで下さい。
- ⑩ 線径の細いコードリールは巻線抵抗となり、電圧が低下し出力が下がります。(15A以上のコードリール)  
また、コードが加熱し、危険ですので使用しないで下さい。
- ⑪ バッテリーの結線が逆の場合は本機が作動しません。(溶接出来ません)
- ⑫ 家庭用安全ブレーカーが切れる場合は、電源をLにして使用して下さい。又コードリールなどを使用した場合は電圧降下の為、電源Hにて使用して下さい。

## ■仕 様

### 1) 溶接仕様

1次定格電圧	90 ~ 110 V	
1次入力電流	8 ~ 19 A	
溶接電流	電源L 溶接L	35 ~ 50 A
	電源L 溶接H	65 ~ 90 A
	電源H 溶接L	50 ~ 65 A
	電源H 溶接H	90 ~ 130 A
周波数	50 / 60 Hz	
定格使用率	20 %	

### 2) 充電仕様

入力電圧	100V 50 / 60 Hz
入力電流	8A ~ 19A
充電電流	DC 24V 5 ~ 25 A

### 3) 工具用変圧器としての仕様

出力電流	100V ~ 110V 20A MAX
電源 L	100V (入力電圧と同一)
電源 H	110V (入力電圧より10V上昇)

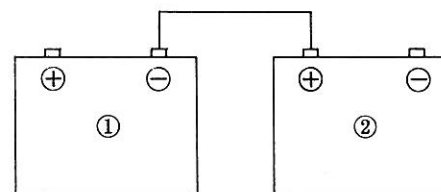
ⓧ 最高3.2%溶接棒まで使用出来ますが、電圧降下その他コードリールを使用した場合は2.6%棒までしか使用出来ない場合がありますので最高条件にて3.2%常用2.6%までとなっています。

## ■使用方法

### A) 溶接機としての使用方法

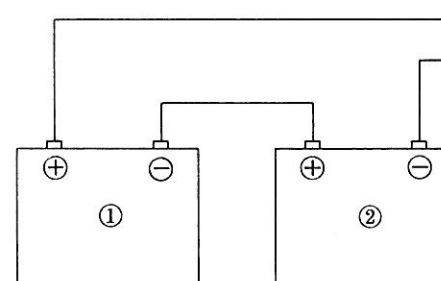
#### 1. バッテリーの接続方法

##### 1-1. バッテリーとバッテリーの接続方法



- 本機のバッテリー充電は完全自動となっていますが電圧降下及コードリールを使用した場合は、作動が悪くなります。
- バッテリーは12V 70AHのバッテリーを必ず2本使用して下さい。
- 左図の様に①のバッテリーの⊖端子と②のバッテリーの⊕端子を接続し、直列にして下さい。

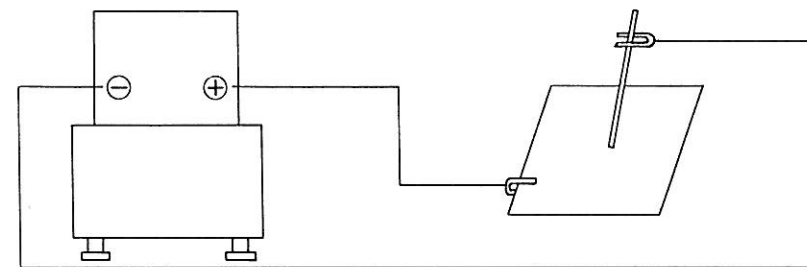
##### 1-2. バッテリーと本体の接続方法



- 本体⊕を赤のコードに接続して下さい。
- 本体⊖を黒のコードに接続して下さい。
- 左図の様に①のバッテリー⊕端子を本体下部に付いております⊕赤コードに接続し②のバッテリー⊖端子を本体⊖黒コードに接続して下さい。
- この場合⊕⊖を絶対にまちがえない様にして下さい。

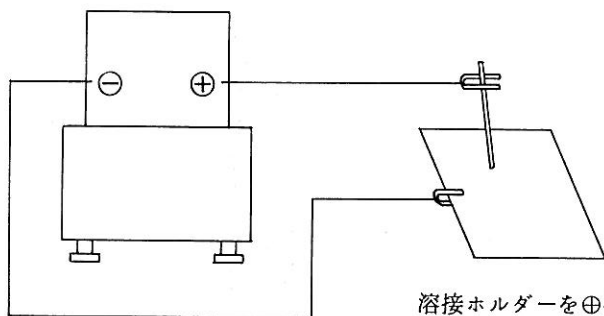
#### 2. ホルダー側ケーブルとアース側ケーブルの接続方法

##### 2-1. 通常溶接の場合



- 溶接用ホルダーを⊖側に接続して下さい。
- アースクリップを⊕側に接続して下さい。

## 2-2. 内盛り溶接の場合



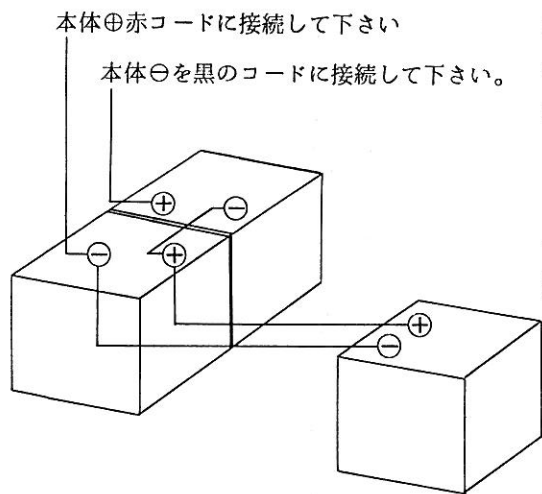
溶接ホルダーを⊕側に接続して下さい。  
アースクリップを⊖側に接続して下さい。

3. 電源コードを家庭用100V電源に接続し安全ブレーカーのスイッチを入れて下さい。

## B) 充電機としての使用方法

### 1. 12Vバッテリー1本を充電する場合

#### 1-1. 12Vバッテリー1本を充電する場合

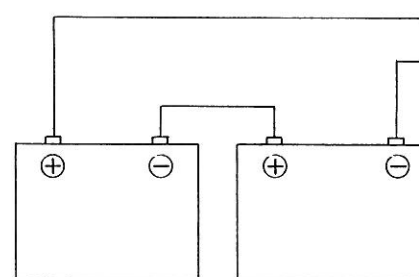


本体⊕赤コードに接続して下さい  
本体⊖を黒のコードに接続して下さい。

本体の充電電圧は24V一定に保たれているため、12Vバッテリー1本を充電する時はバッテリー収納ケース内のバッテリー接続はそのままとし左図の様にどちらかのバッテリーと充電しようとするバッテリーを並列に接続して下さい。

充電しようとする12Vバッテリー

### 1-2. 12Vバッテリーを2本充電する場合

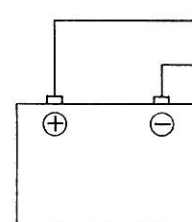


⊕を赤のコードに接続して下さい。  
本体⊖を黒のコードに接続して下さい。

12Vバッテリーを2本充電する時は本体とバッテリー収納ケース内の接続を外し左図の様に接続して下さい。

・充電しようとするバッテリーを左図の様に直列に接続して下さい。

### 2. 24Vバッテリーを充電する場合



本体⊕を赤のコードに接続して下さい。  
本体⊖を黒のコードに接続して下さい。

24Vバッテリーを充電する時は本体とバッテリー収納ケース内の接続を外し、左図の様に接続して下さい。

- 上記の配線が誤配線していないかを確認して本体の安全ブレーカースwitchを入れて下さい。満充電に近くなると充電量は自動的に下ります。
- バッテリー接続は絶対にまちがえないようにして下さい。本体が破損する可能性があります。

## C) 工具用変圧器としての使用方法

- 本体後部の電源コードを家庭用100V電源に接続し、前面のブレーカースwitchを入れたら、後部の差込コンセントよりAC100Vが取り出せます。
- 前面の電源切替switchをHに入れたら、一般電源より10V高くなり、Lにすると100Vとなります。
- 差込みコンセントに電動工具を接続し、作業ができます。
- 差込コンセントより20A以上の出力を取ると前面の安全ブレーカーが切れます。